

ササユリ満開



田和山の遊歩道を登り、尾根道になった所や、竹林の中にササユリが今盛りです。4・5年前は数本の花しか見られませんでした。今年は特に増えて30・40本は生えてきました。もっと沢山増えて、キンランと共に森の花としてPRできるようになると思います。

整備作業

5月から6月かけて森の南斜面（bゾーン）の整備を行っています。ここにはヒノキが植林され大きくなっていますが、ハチクが繁茂した区域や雑木が生えた所があり、これ等の竹や雑木を伐採する作業を行っています。そのため随分明るくなりました。



写真寄贈～（キンランの花）

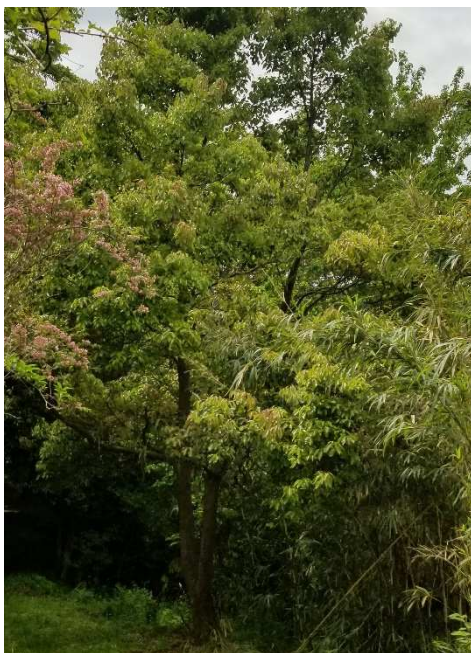
先日（6/3）、アマチュア写真家の藤野一洋氏からキンランの写真の寄贈を受けました。藤野氏からは以前にも写真を頂いており、田和山館に掲示しています。今年も何度か森に通い、初めて開花しているのを見て感動。撮影したので寄贈するとのことでした。鮮明に写った素晴らしい写真で、今回は新しくできた休憩所の屋根裏に飾ることにしました。是非ご覧ください。



田和山の樹木 第21回 クスノキ

田和山にあるクスノキ科の四番目はクスノキです。

クスノキはクスノキ科を代表する樹木ですが、暖地性のため島根県の山では石見地方の海岸部以外あまり目にすることはありませんでした。



しかし、山陰地方でも近年、大気汚染に強く、成長が旺盛で見栄えが良いということで、街路樹や公園に多く植えられるようになりました。

田和山でも、活動初期に行われた樹木調査のリストにはありませんでしたが、遊歩道の入り口に確認することができました。この木が、植えられたものか自然に生えたものなのかは不明ですが、田和山で、外に数本小さな木は、鳥の糞で運ばれてきたのが自生しています。

小さな木の中には、今年の雪で折れているものもあり、暖地性であることがわかります。

ヤブニッケイヤ、シロダモの葉より円みをおびていることや、樹皮が縦に細く短冊状に裂けていることで区別できます。

化学合成されるまでは、クスノキから樟脳が抽出されていたことからわかるように材は耐朽性が高く、その防虫効果から、家具や飛鳥時代の仏像に使われてきました。



・・・今後の作業予定・・・

6月11日（金）13：30、19日（土）9：00、25日（金）13：30、

7月2日（金）9：00、9日（金）9：00、17日（土）9：00、23日（金）9：00、30日（金）9：00、

※ 8・9月は暑さ対策のため、今年も午前中の作業とします。